

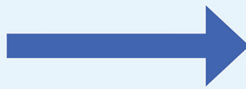
# スマートフォンの普及 ICT の高度化とサービスの多様化

過去 50 年間で ICT は高度化し、さまざまな ICT サービスやビジネスが登場しました。1973 年当時には、主なコミュニケーションツールは加入電話で、外出中の連絡手段として公衆電話が重要な役割を果たしており、それらの利用の中心は音声による通話でした（図表 0-1-1-1）。現在は、固定電話の加入者数や公衆電話の設置台数が大幅に減少し、携帯電話が主なコミュニケーションツールとなっています。また、メールやソーシャルメディア（SNS）も普及し、音声だけではなく文字や写真などが用いられるなど ICT を用いた多様なコミュニケーションツール、サービスが普及しています。

図表 0-1-1-1 【1973年と現在】コミュニケーションツールの変化



電話



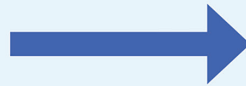
（出典）ココログ「夜明け前電話をかける子ども | 昭和の風景④」、写真AC

映像の視聴手段は、1973 年当時は、アナログ方式の地上放送をテレビで視聴する形態でした（図表 0-1-1-2）。現在は、地上放送に加えて衛星放送、CATV 放送の視聴が可能であり、映像技術の高度化により 4K・8K という超高画質の映像を楽しむことができます。また、インターネットでの配信によりテレビ番組をパソコンやモバイル端末で視聴することが可能となっており、さらに、インターネット動画配信サービスなども出てきています。

図表 0-1-1-2 【1973年と現在】動画視聴手段の変化



テレビ

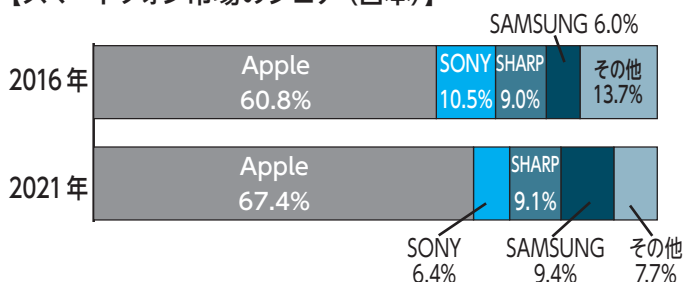


（出典）上島町デジタルアーカイブ、情報通信総合研究所

## 【スマートフォンの普及】※令和 4 年度版情報通信白書（総務省）を加工

ここ数年の間に急速に普及したスマートフォン。略してスマホ。大分すると米 Apple（アップル）社の iPhone（アイフォン）端末とそれ以外の Android（アンドロイド）端末があります。日本と世界のスマホ市場を比べてみるとシェアに違いがあるようです。日本市場について、スマートフォンの販売台数ベースのシェアをみると、2021 年は、首位が Apple67.4%、2 位が SAMSUNG9.4%、3 位が SHARP9.0%となっています。一方、世界市場をみると、スマートフォンの販売台数ベースのシェアは、2021 年は、首位が SAMSUNG20.3%、2 位が Apple17.5%、3 位が Xiaomi14.2%となっています。日本企業のスマホが少ないのは、ちょっと寂しいですね。

### 【スマートフォン市場のシェア（日本）】



### 【スマートフォン市場のシェア（世界）】2016 → 2021

